

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-01		
施設名	花の木ひろば館				
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年 45,804			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年10月24日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月1日	職員数	19	0	
構造	RC造	階層	地上4階		
面積	敷地面積	荒川保育園敷地内(1,065.22㎡) m ²			
	延床面積	918.85㎡ m ²			
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	保育課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	5台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	年間利用者数(人)		42,564	40,628	40,444	27,180
開館日数(日)		293	293	264	226	293
に指定 等管理 費理						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止した。

III 財務諸表

(単位:千円)

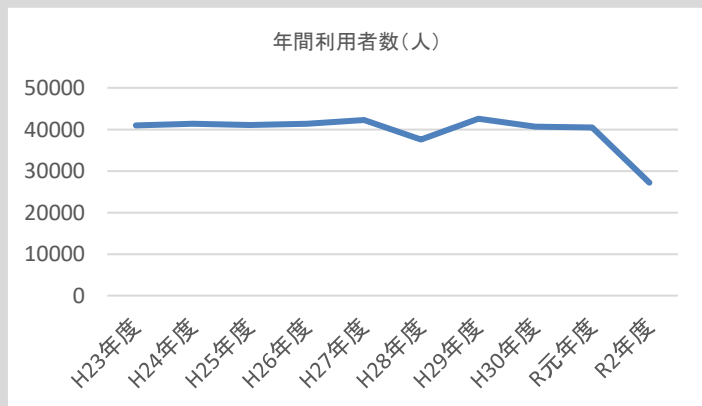
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額										
	行政費用	給与関係費	71,663	67,751	▲ 3,912	地方税等	0	0	0									
貸借対照表	行政費用	物件費	8,064	8,887	823	行政収入	国庫支出金	0	2,925	2,925								
	貸借対照表	行政費用	維持補修費	1,132	353	▲ 779	行政収入	都支出金	723	3,564	2,841							
		貸借対照表	行政費用	扶助費	0	0	0	行政収入	分担金及び負担金	0	0	0						
			貸借対照表	行政費用	補助費等	171	65	▲ 106	行政収入	使用料及び手数料	9	14	5					
				貸借対照表	行政費用	減価償却費	0	0	0	行政収入	その他	0	0	0				
					貸借対照表	行政費用	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	732	6,503	5,771				
						貸借対照表	行政費用	賞与・退職給与引当金繰入額	8,197	7,455	▲ 742	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 88,495	▲ 78,008	10,487			
							貸借対照表	行政費用	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
								貸借対照表	行政費用	行政費用合計(b)	89,227	84,511	▲ 4,716	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 88,495	▲ 78,008	10,487	
									貸借対照表	行政費用	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
貸借対照表										行政費用	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 88,495	▲ 78,008	10,487
	貸借対照表									流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,235	3,395	160
		貸借対照表								流動資産	不納欠損引当金	0	0	0	流動負債	還付未済金	0	0
			貸借対照表							流動資産	その他の流動資産	0	0	0	流動負債	特別区債	0	0
				貸借対照表						固定資産	有形固定資産	0	0	0	流動負債	賞与引当金	3,235	3,395
					貸借対照表					固定資産	土地	0	0	0	流動負債	その他の流動負債	0	0
						貸借対照表				固定資産	建物	45,804	45,804	0	固定負債	36,569	38,401	1,832
							貸借対照表			固定資産	建物減価償却累計額	▲ 45,804	▲ 45,804	0	固定負債	特別区債	0	0
								貸借対照表		固定資産	工作物等	0	0	0	固定負債	退職給与引当金	36,569	38,401
									貸借対照表	固定資産	工作物等減価償却累計額	0	0	0	固定負債	その他の固定負債	0	0
貸借対照表										無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	39,804	41,796	1,992	
	貸借対照表									建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 39,804	▲ 41,796	▲ 1,992	
		貸借対照表								その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 39,804	▲ 41,796	▲ 1,992	
			貸借対照表							資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	

備考 令和2年度から同施設内で運営している花の木学童クラブ分の行政コストを計上することとしたため、物件費等が増加している。

指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	92,680	86,014	97,107	91,975	
	経費に占める収入の割合(%)	1	0	1	7.7	
	開館1日当たりコスト(円)	290,645	269,741	337,981	373,942	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,001	1,945	2,206	3,109	
	人にかかるコストの割合(%)	90	88	90	89.0	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 41,800	42,760	41,200	27,860	32,900
		実績値 42,564	40,628	40,444	27,180	32,900
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○区内で唯一の木工室や読書コーナー等がある花の木ひろば館の施設の機能を活かしたひろば館運営が必要である。 ○施設及び設備の老朽化により、改修等が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に推進していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○木工室や読書コーナー等、花の木ひろば館の施設の機能を活かし、児童にとって魅力的な事業を実施し、児童の利用増に繋がる取組を進めていく。 ○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止していたため、年間利用者数が減少している。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-02			
施設名	熊野前ひろば館					
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成9年	347,575	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成9年3月29日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成9年4月1日		職員数	14	0	
構造	RC造		階層	地上3階、地下2階		
面積	敷地面積		男女平等推進センター敷地内(1,031.56㎡)			
	延床面積		598.65㎡			
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	総務企画課、区民施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	年間利用者数(人)		50,688	44,817	42,533	15,946
開館日数(日)		293	293	264	226	293
に指定 等管理 費理						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止した。

III 財務諸表

(単位:千円)

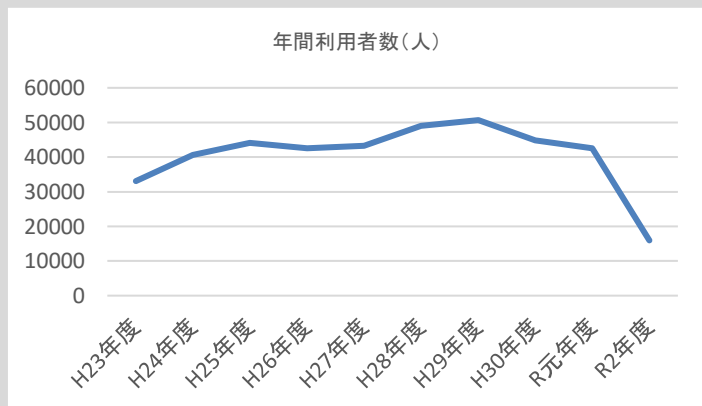
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	72,945	65,637	▲ 7,308	地方税等	0	0
	物件費	3,884	6,102	2,218	国庫支出金	0	6,728	6,728
	維持補修費	855	17,023	16,168	都支出金	375	9,844	9,469
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	143	16	▲ 127	使用料及び手数料	273	102	▲ 171
	減価償却費	10,006	10,006	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	648	16,674	16,026
	賞与・退職給与引当金繰入額	8,344	7,223	▲ 1,121	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 95,529	▲ 89,596	5,933
	その他行政費用	0	263	263	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	96,177	106,270	10,093	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 95,529	▲ 89,596	5,933
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 95,529	▲ 89,596	5,933
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,293	3,289
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	131,007	121,001	▲ 10,006	賞与引当金	3,293	3,289	▲ 4
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	356,857	356,857	0	固定負債	37,223	37,203	▲ 20
	建物減価償却累計額	▲ 225,850	▲ 235,857	▲ 10,007	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	37,223	37,203	▲ 20
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	40,516	40,492	▲ 24
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	90,491	80,509	▲ 9,982
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	90,491	80,509	▲ 9,982
	資産の部合計	131,007	121,001	▲ 10,006	負債及び正味財産の部合計	131,007	121,001	▲ 10,006

備考 令和2年度から同施設内で運営している熊野前学童クラブ分の行政コストを計上することとしたため、物件費が増加している。また、空調設備改修工事を実施したため、維持補修費が増加している。

指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	59	61	63	66.1	
	1㎡当たりコスト(円)	158,999	157,347	160,656	177,516	
	経費に占める収入の割合(%)	1	1	1	15.7	
	開館1日当たりコスト(円)	324,863	321,488	364,307	470,221	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,878	2,102	2,261	6,664	
	人にかかるコストの割合(%)	85	84	85	68.6	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人当たりコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 49,500	53,527	45,200	30,956	19,300
		実績値 50,688	44,817	42,533	15,946	19,300
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に推進していく必要がある。 ○2号事業ひろば館で唯一の多目的室を活用したひろば館運営が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○保守点検や遊具安全点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。 ○多目的室を活用したJUMP-JAM(ジャンジャン)等、体を動かすプログラムの充実や中高生の居場所を提供することで、児童、生徒の利用増に繋がる取組を進めていく。					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止していたため、年間利用者数が減少している。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-03		
施設名	西日暮里二丁目ひろば館				
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年 289,008			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	平成28年4月13日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成28年4月18日		職員数	29	0
構造	鉄骨造		階層	地上3階	
面積	敷地面積			562.75m ²	m ²
	延床面積			833.74m ²	m ²
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	区民施設課、教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●だれでもトイレ	
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブ及び放課後子ども教室を運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ・にこにこすくーる利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	年間利用者数(人)		56,303	60,694	50,746	28,716
開館日数(日)		293	293	264	226	293
に指定 等 管理 費						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止した。

III 財務諸表

(単位:千円)

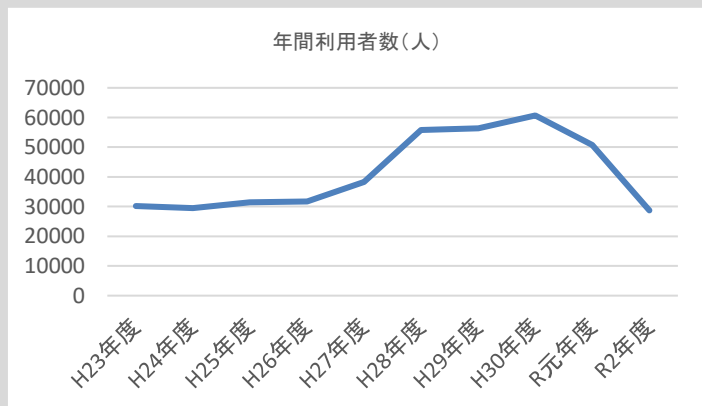
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	行政費用	給与関係費	81,669	85,860	4,191	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	5,798	9,586	3,788		国庫支出金	0	4,682	
	維持補修費	342	201	▲141		都支出金	312	7,181	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	158	21	▲137		使用料及び手数料	59	26	
	減価償却費	0	9,772	9,772		その他	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	371	11,889	
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,342	9,448	106		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲96,938	▲102,999	
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	
	行政費用合計(b)	97,309	114,888	17,579		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲96,938	▲102,999	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲96,938	▲102,999	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,687	4,303	616
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	固定資産	有形固定資産	271,447	261,674	▲9,773		賞与引当金	3,687	4,303
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0
		建物	271,447	271,447	0		固定負債	41,674	48,665
		建物減価償却累計額	0	▲9,772	▲9,772		特別区債	0	0
		工作物等	0	0	0		退職給与引当金	41,674	48,665
		工作物等減価償却累計額	0	0	0		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	45,361	52,968	
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	226,086	208,706	
	その他の固定資産	0	0	0		正味財産の部合計	226,086	208,706	
	資産の部合計	271,447	261,674	▲9,773		負債及び正味財産の部合計	271,447	261,674	

備考 令和2年度から同施設内で運営している西日暮里二丁目学童クラブ及びひぐらし小にこにこすくーる分の行政コストを計上することとしたため、物件費等が増加している。なお、令和元年度にリース資産から区公有財産となったため、令和2年度から減価償却を開始した。

指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-			
	1㎡当たりコスト(円)	235,233	123,047	116,714	137,798	
	経費に占める収入の割合(%)	1.0	2	4	103.5	
	開館1日当たりコスト(円)	66,936	35,013	36,859	50,835	
	利用者1人当たりコスト(円)	3,483	1,690	1,918	4,001	
	人にかかるコストの割合(%)	51	85	94	83.0	
備考	昨年度と比較して、開館日数及び年間利用者数の減少により、開館1日当たりコスト及び利用者1人あたりコストが増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 56,000	56,866	61,200	37,729	34,800
		実績値 56,303	60,694	50,746	28,716	32,900
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(総合プランを委託化(令和4年度から))					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	乳幼児事業を通じた在宅育児家庭に対する子育て支援の場、児童に対する豊かな遊びの提供の場					
現状・課題	○学童クラブの利用者が多い上、にこにこすくーるの実施場所であるため、午後の乳幼児親子の利用者が少ないことが課題であるが、小中学生の利用は着実に増加している。					
課題に対する現時点での考え	○中高生の居場所づくりの工夫を図り、中学生の利用者の定着を目指すとともに、令和2年度から、小学生が来るまでの午後の時間を優先的に乳幼児が利用できるプログラムを検討し、乳幼児の利用増を目指す。 ○隣接するひぐらし小学校と調整し、校内のスペースの有効活用及び体験学習等の充実について検討するなど、総合プランを推進していく。					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年3月から6月中旬までの期間、運営を休止していたため、年間利用者数が減少している。